

点検・整備は 自動車ユーザーの義務!?

～9月・10月は「自動車点検整備推進運動強化月間」～



自動車ユーザーには、自動車の不具合による事故の防止や環境保全を図ることを目的として、自動車の点検・整備（日常点検・定期点検等）の実施が義務付けられていますが、十分に実施されているとはいえない状況にあり、自動車ユーザーの保守管理意識を高め、適切な点検・整備が実施されるよう取り組むことが必要です。

一般的に使用されているマイカー（10人以下の乗用車）の定期点検は、1年ごとに行うこととしており、フロントガラスの上部左側に貼ってある丸いステッカー（点検整備済ステッカー）が定期点検の期限となりますので、再度、ご使用されている自動車のご確認をお願いします。

※フロントガラスの上部にある四角いステッカー（検査標章）は車検の期限となります。

●「自動車点検整備推進運動」とは？

国土交通省では、点検・整備の必要性、大型自動車に関する適切な点検・整備の実施方法、エコ整備（点検・整備によるCO2削減効果をいう。）を積極的に啓発するため、9月・10月を「自動車点検整備推進運動強化月間」とし、関係機関及び関係団体の協力を得ながら本運動を展開し、自動車ユーザーに適切な点検・整備の実施の必要性を理解してもらうように努めています。

主な実施事項

- ①ポスター掲示、ホームページ掲載及びチラシ配布等による周知活動。
- ②整備管理者研修、自動車検査員研修、整備主任者研修等の機会を活用して、受講者に対し、本運動の趣旨を周知するとともに、点検・整備の必要性や重要性を啓発。
- ③街頭検査等の機会を活用して、自動車ユーザー等に対して点検・整備の必要性を強く訴え、確実に実施するよう呼びかける。

最後に点検した日、覚えてる？

～後悔しないための点検・整備～

安全と環境保全には、点検・整備が必要です

「車検日の履歴簿」に点検・整備実施状況が記載されています。詳しくは、QRコードをご覧ください。

国土交通省 車検 点検

www.tanken-seibi.com

「クルマの愛情点検チェックガイド」もご利用ください。

www.tanken-seibi.com/m/

本運動の取組や日常点検の実施方法をご紹介します



自動車点検整備
推進協議会HP

<http://www.tanken-seibi.com>



クルマの愛情点検
チェックガイド

<http://www.tanken-seibi.com/m/>

15
項目チェック



安全確保と環境保全是 クルマの点検・整備から。

日常点検

日常点検整備は、日頃自動車を使用していく中で、ユーザーの皆さんが自分自身で行うことのできる点検です。普段から、以下のチェックシートを片手に点検を行いましょう。

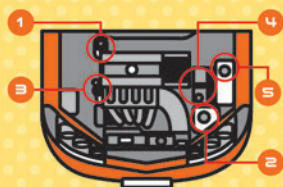
定期点検

定期点検整備は、日常点検より細かい点検項目について、一定期間（自家用乗用車は1年）ごとに実施する、少し大がかりな点検整備です。日常点検と同様にユーザーの方の義務となっていますが、専門的な知識・技術も必要なので、国の認証を受けた整備工場に任せることもできます。

車検はあくまで最低限の基準を満たしているか確認するもので、次の車検までの安全性等を保証するものではありません。確実に日常点検や定期点検を実施し、車の保守管理を行いましょう。



専用HPはこちら



エンジンルーム 5項目



① ブレーキ液の量

リザーバ・タンク内の液量が規定の範囲（上限ラインと下限ラインとの間）にあるかを点検します。



② 冷却水の量

リザーバ・タンク内の液量が規定の範囲（上限ラインと下限ラインとの間）にあるかを点検します。



③ エンジン・オイルの量

エンジンに付いているオイル・レベルゲージを抜き取り、付着しているオイルを拭き取ってからゲージをいっばいに差し込み、再度抜き取った際にオイルの量がオイル・レベルゲージにより示された範囲内にあるかを点検します。



④ バッテリー液の量

バッテリー液の量が規定の範囲（上限ラインと下限ラインとの間）にあるかを、車両を揺らすなどして点検します。



⑤ ウインド・ウォッシャー液の量

ウインド・ウォッシャー液の量が適当かを点検します。

判定○or×

☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐


クルマの周り 4項目



⑥ ランプ類の点灯・点滅

エンジン・スイッチを入れ、ランプ類の点灯・点滅具合が不良でないか、レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。



⑦ タイヤの亀裂や損傷の有無

タイヤの亀裂や損傷の有無、タイヤに異物が付着したりかみ込みなどしていないかを入念に点検します。



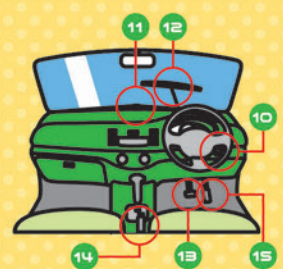
⑧ タイヤの空気圧

タイヤの接地部のたわみ具合を確認して、タイヤの空気圧が規定の範囲内であることを点検します。また、エアゲージで計測すると正確な空気圧が点検できます。



⑨ タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さが十分であることを、接地面のスリップ・サインを目印に点検します。スリップ・サインは、タイヤ側面の三角マークのある位置の接地面に現れます。

☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐


運転席 6項目



⑩ エンジンのかかり具合・異音

エンジンが速やかに始動しスムーズに回転するか、またエンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。



⑪ ウインド・ウォッシャー液の噴射状態

ウインド・ウォッシャー液を噴射させ、ワイパーの作動範囲に噴射されるかを点検します。



⑫ ワイパーの拭き取り状態

ワイパーを作動させ、低速および高速の各作動が不良でないか、ウインド・ウォッシャー液がきれいに拭き取れるかを点検します。



⑬ ブレーキの踏み残りしろと効き具合

エンジンをかけて異音がないかを確認したうえで、ブレーキ・ペダルをいっばいに踏み込んだとき、床板とのすき間（踏み残りしろ）や踏みごたえが適当であることを点検します。



⑭ 駐車ブレーキの引きしろ（踏みしろ）

駐車ブレーキをいっばいに引いた（踏んだ）とき、引きしろ（踏みしろ）が多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検します。



⑮ エンジンの低速・加速の状態

エンジンを暖機させた状態でアイドリング時の回転がスムーズに続くか、また、エンジンを徐々に加速したとき、アクセル・ペダルに引っかかりがないか、スムーズに回転するかを走行するなどして点検します。

☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐
☐ ☐


自動車の点検整備はユーザーの義務です